

委員会年間事業計画書

総務広報委員会

担当専務理事 金子 友理子
委員長 長山 直仁
副委員長 金澤 武典

1. 活動方針

～～委員会スローガン “個々の魅力溢れる総務広報委員会”～～

(社)天草本渡青年会議所が公益法人化に向け大きく進化しようとしている今、その進化に適した組織運営が必要になってきます。総務広報委員会は青年会議所において基盤となる部分であると考えます。広報では、委員会メンバーが全体の流れを理解し、各委員会が「熱き思い」を持って実践する運動に対し、全メンバーが同じ方向に進んでいけるよう喜びや苦勞をダイレクトに感じられる広報活動を目指します。例会においては、個人の役割を理解すると共に各委員会との連携を図り、執行部と協力し、全メンバーが集う例会の円滑な運営に努めます。

この1年間を通して総務広報委員会の活動が、(社)天草本渡青年会議所の進化の原動力となり、メンバー一人ひとりの個性が輝くことで、委員会スローガンである“個々の魅力溢れる総務広報委員会”へと繋げて参ります。

2. 委員会運営

開催日時 毎月例会開催日3日前 20:00～21:30
その他必要に応じて随時

開催場所 J C 会館

運営方法

委員会メンバーには、委員会職務をしっかりとマスターしてもらったうえで、個々が魅力溢れる委員会メンバーとして力を発揮できるよう、各担当リーダーを配置し自らが積極的に参加している意識をもってもらえるような委員会運営をいたします。

委員会幹事 山下 裕
会計幹事 岡本 幸一郎
選考委員 倉田 義彦

3. 事業計画

事業名	目的・背景	方法・手段	予算(案)	上程スケジュール	備考
理事会の設営等並びに議事録の作成・保存(通年)	理事会を効率よく設営し、(社)天草本渡青年会議所の意思を明確にする。また、正確な資料として記録を残す。後で見るときに発言者の意図が正確に伝わるような議事録を作成・保存する。	役割分担を明確にし、スムーズな準備に心がける。メンバーは手分けして、ICレコーダーやビデオカメラにより効率的に議事録を作成・保存する。理事会議事録は次回理事会に提出する。	27,000	07 11月計画協議 12月計画審議 08 12月報告審議	

例会の企画・運営並びに議事録の保存 (通年)	全会員が集う「場」の例会のために各委員会との連携を図り、執行部と協力し、全メンバーが集う例会の円滑な運営に努め出席率の向上を図る。	総会・例会会場の設営及び準備を実施。資料の提出期限を明確にし、例会時には余裕をもって作成を完了する。各委員会に例会議事録作成をしてもらい次回例会時に回覧する。また、例会アワーや例会企画の担当窓口を行う。出席の意識付けも随時行う。	250,000	07 11月計画協議 12月計画審議 08 12月報告審議	
ホームページの運営 (通年)	素材収集を随時行い、外部に(社)天草本渡青年会議所の情報を発信、PRすると共にメンバー間での情報の共有化を図る。また、会員拡大のツールとしてメンバーに活用してもらう。	カメラを使って取材し(各委員会と連携し実施)随時更新を行い、内容の充実を図りながら新しい情報を対内外に発信する。	42,000	07 11月計画協議 12月計画審議 08 12月報告審議	
LOM内広報誌の作成 (通年)	素材収集を随時行い、LOM内外の様々な出来事を、楽しく伝える。	カメラを使って取材し(各委員会と連携し実施)毎月1回作成発行し、例会時に配布する。	96,000	07 11月計画協議 12月計画審議 08 12月報告審議	
あしなみ発行 4月 11月	素材収集を随時行い、(社)天草本渡青年会議所の魅力や活動を対外的にPRすると共に、新入会員拡大のツールとして利用する。	カメラを使って取材し、記録保存する。(各委員会と連携し実施)あしなみ発行を年2回とする。	250,000	08 2月計画協議 3月計画審議 08 12月報告審議	
会員拡大の推進 (通年)	同じ志を持つ仲間を増やし、創立50周年時に会員100名を目指す。	委員会目標2名 総務広報委員会の事業である「あしなみ」「LOM内広報誌」「ホームページ」をツールとし会員拡大を行う。	0		
合計			665,000		